

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400255	
法人名	医療法人 仙知会	
事業所名	グループホーム かけはし 1号棟	
所在地	秋田県大館市松木字大上122番長5	
自己評価作成日	令和5年9月20日	評価結果市町村受理日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナ感染症が5類になりましたが、以前と変わらず感染予防対策へ力を入れております。入居者様及びスタッフは、重症化防止の為に感染予防接種6回目を終了しております。現在のところご家族様のご協力もあり、感染者は発生しておりません。また今年の夏は例年より気温が上がり、入居者様の健康管理に力を入れました。必要に応じて冷房を使用して体温調整をさせて頂きました。かけはしでは、周りが田園に囲まれ色々な部分で自然豊かな場所にあります。真冬は狐が幾度も出現してくれて、入居者様と見学が出来ました。日々の環境に小鳥等多くの出会いがあります。今年の春から、防災面で1号棟側面にセンターライトを設置し安全確保が出来るようになりました。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai.gokensaku.jp/05/index.php">http://www.kai.gokensaku.jp/05/index.php</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団	
所在地	秋田市御所野下堤五丁目1番地の1	
訪問調査日	令和5年10月18日	

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

大館の玄関口である大館駅や秋田犬の里にほど近い場所にある。周囲の山並みが一望でき、夏祭りの一つである大文字焼きや花火なども見ることができる。また周囲の田んぼなどから四季の移ろいを感じながら過ごすことができる。ホーム内は清潔に保たれ、明るく室温なども管理された快適な空間となっている。利用者が必ずしも同じ事を一緒にしなければいけないと考えずに、一人ひとりの意思を大切にしている。昼食後には、居室から談笑する声が聞こえており、ベッドに腰掛けて2人、3人と歓談する様子はいつものように見られる光景だとのこと。道端で見られる井戸端会議のようなほっこりできる瞬間だった。そこに利用者の生活があることが感じられた。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
47 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	54 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
50 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:30)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57 職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の目に付く場所にはかけはし理念を掲げており、日頃から共有し実践しております。	理念について話し合いの場を設けているが、開設当初からの理念『住み慣れた町で笑顔があふれる雰囲気とその人らしくゆっくり過ごす』を継続している。職員全員が理念を理解し、無理強いせずゆっくり、一人ひとりに合わせ、利用者の意思を尊重している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方とは散歩時や、ごみ出しの時に挨拶を交わすようにしております。また、近くに中高一貫校があり、高校生の職場見学交流させていただきました。	毎日午後から散歩に出掛ける利用者もいる。普段から地域の方と関わりを持っている。秋の祭典には、町内会長の配慮で、お囃子を鳴らし神輿を巡らせてくれる。また、地元の公民館に菖蒲を見に出かける等、季節を楽しめるよう外出している。公民館にはドッグランが併設されており、犬達が利用者を笑顔にし、また地域の人とも結びつけてくれる。コロナ禍でも感染予防しながら外出や人々との関わりを持っている。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進会議で報告させて頂いております。季節ごとに希望を募り、地域の名所へ出掛けております。そのときは、地域の方々と会話を楽しまれております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所担当職員、包括支援センター、及び町内会代表者2名様には日常生活等の報告をして情報交換をしております。	入居状況や利用者の状態、活動報告をしながら、率直な意見交換が行われている。例年はワラビなどの山菜採りなどを行っていたが、転倒リスクや熊の出没などから控えた方がいいという意見が出され、山には行かず近隣でワラビやセリを採るなど可能なことを行っている。	市役所担当職員、地域包括支援センター、及び町内会代表2名、町内消防担当などで構成されているが中々メンバーが揃うことがない。多角的な視点で話し合い、地域の理解や支援を得るために重要な機会であるため、家族へも声を掛ける、事前に日程について相談するなどの対応を検討していた。運営推進会議での多くの意見がサービス向上につながることに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議欠席時は、その日のうちに議事録を提出させて頂いております。また、市役所担当者様から、助言やご指導を頂いております。	運営推進会議だけではなく、日頃から連絡を取り合いながら、相談事など連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束について、年2度の研修会を開催しておりますが、市の立ち入り検査にて指定書類を提出しました。全職員の再研修を行い、身体拘束廃止フローチャートを作成して虐待防止に努めております。	市の立ち入り検査について確認している。内部告発によるものだったが、職員同士のトラブルが関与していた。改めて職員全員で話し合い、研修を実施して理解を深めた。身体拘束委員会を毎月行い、些細なことも検討し、身体拘束をしないケアを実践している。	
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度については、職員が資格取得時に学び活用出来るように支援しております。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時解約時においては、納得出来るように説明させて頂いております。改定時は内容をお知らせさせて頂いております。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	利用者様、ご家族様の要望はなるべく実現できるように支援させて頂いております。	利用料の支払時など、来訪した際に積極的に話を聞くよう努め、都度対応している。ご家族の意見から、家族とのドライブや美容院でカットさせたいなどの思いをコロナ禍でも状況を見ながら実現していた。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	事務長と職員間で会議を開き、意見など話す機会を作っております。	事務長が職員から処遇や不満などの聞き取りを行い、職員のシフトの変更に至ったケースがあった。また、職員から取得したい資格を聞き取りフォローしている。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染防止対策として、他事業者との交流はまだできておりませんが、同グループ内では、ネットワークで交流や連携を通じてサービスの向上に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日々職員は利用者様の状態等を周知し、困っている時等声掛けし、安心して過ごせるように関係づくりに努めています。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前説明の時にご本人様、ご家族様の要望等を尋ね困っている時は傾聴し、関係づくりに努めています。		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者様に出来る事をお願いし支援をして、共に過ごせるように関係を築いております。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、面会等に予防対策をしながらご本人様、ご家族様の絆を大切に支援しております。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	ご家族様からの電話連絡や、お手紙等を支援しております。また、地域の方からのお手紙があるときは、本人様の返信を出す支援をしています。	一人ひとりの写真付きのお便りを毎月家族に送っている。面会も制限を設けながらも可能であり、馴染みの美容室に出掛けたり、家族と墓参りをしたり、通院の帰りに回転寿司に寄ったりし、これまでの暮らしの継続を支援している。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の会話の中で、些細な事の口論がありますが、様子を見ながら利用者様を支援しております。		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスを終了後の関係は、必要に応じて支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、職員は心身の状態把握に努めており、希望等傾聴しできる限り実現出来る様に支援しております。	生活の中で聞き取りをし、申し送りノートで共有、実現できるよう話し合っている。食べたいものをメニューに反映させたり、JAでのリンゴの購入や紅葉狩りをしたりすることが予定されていた。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活状況については、ご本人様、ご家族様及び関係者様からの情報収集し、安心して暮らせるように支援しております。		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様または関係機関との連携を図り、個別介護計画を作成しております。	短期目標の期間に応じて、聞き取り、カンファレンスを行っている。利用者や家族の意見も反映されている。また、利用者の状況変化に応じた見直しを行っている。	
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	毎日個別にご利用者様の記録を付けており、個別介護計画書特記事項の場合は職員間で情報共有して個別介護計画の見直しに活かしています。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染予防対策をしながら、ご本人様が安心して暮らせるように支援しております。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医には、毎日の経過観察記録の提出と生活状況をご家族様を通して提出しております。また、かかりつけ薬局へわからない場合連絡させて頂いております。	協力医院もあるが、本人、家族の希望する医療機関の継続も可能である。通院はご家族に対応していただき、文書化した物を主治医宛に書いて持参してもらっている。必要に応じて、事業所が主治医とやりとりを行っている。薬局もそれぞれだが、配達や相談にのってくれる懇意にしている薬局もある。	
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内では、看護職の在籍はしていませんが、医療機関の看護師と連絡をとれるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ご家族様や主治医と共に、早期退院に向けた話し合いが出来る様にしています。		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前に、本人様とご家族様へ説明しています。施設として何処まで対応できるのかや、必要時の地域関係者やグループ内施設への相談をしています。	看取りは対応していない。事業所でできることを重要事項説明書に明記し説明して理解を得ている。状況に応じて、移設の支援を行っている。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に備え職員は職場内研修をしています。また、緊急対応手順マニュアルを作成しております。急変時は、救急車要請しています。		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し年2回の避難訓練を利用者様と実施しています。また、近郊住民の連絡先を常に見えるところに掲げています。水害想定訓練は、近くの学園様の許可を受けて、年1回実施しています。	消防も参加し、法令2回の避難訓練の他、水害を想定し実際の避難場所への訓練も行っている。1号棟の避難路に段差あり、スロープの基準法から改善が難しいとのことで、布団などを利用した実践的な訓練を行っていた。BCPIに関しては策定中であり、備蓄を始め地域性に関して検討しているとのこと。	
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格やプライドを損なわない様に、個々に合った声掛けし対応策をしています。	脱衣や不潔行為がみられる利用者もあり、羞恥心に配慮し目隠しなどで対応している。排泄や入浴などは特に配慮している。	
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った衣類を、ご家族様のご協力のもと揃えており、外出時身だしなみの支援をいています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その時々、旬の食材や献立を共に話し合い、準備や片付けをしています。	もやしの下ごしらえ、茶碗拭きなど利用者も役割を担うことで、意欲につながっている。利用者の意見がメニューに反映されている。一緒に育てたトマトやカラーピーマンなど旬の食材を活かしている。敬老会などの行事食や手作りケーキで祝う誕生会などが喜びや楽しみにつながっている。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量、水分量の把握しています。また、個々に合わせた工夫をして支援をしています。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の声掛けや誘導にて、支援しています。特に夕食後は義歯洗浄剤を使用して清潔保持に努めています。		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の状態に合わせて声掛けや、誘導をして自立した支援しています。	一人ひとりのチェック表にて排泄パターンを把握し、時間で誘導している。チェック表やお腹の張りなど観察しながら排便コントロールをしている。	
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排泄パターンを把握しています。水分量や食事量を工夫し努力しています。毎日の体操を行い便秘解消に努めています。		
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の健康状態に合わせて、個々の意見を聞きながら楽しんで頂けるように支援しています。	基本的には週2回だが、便失禁など随時シャワー浴などで対応している。入浴拒否時などは、言葉がけを工夫している。シャワーの温度は突然変わってしまう場合があるので、使用中は常に職員の指で湯温の確認を行うなど配慮を徹底している。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの睡眠パターンを把握しています。安心して眠れるように温度調整したり、安眠に向けて支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬内容が分かるようにファイルをしています。服薬時の誤嚥や飲み残しがないか確認しています。また、状態変化時はご家族様、及び主治医へ報告しています。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ利用者様の楽しみ方に違いがあり、他者様に配慮しながら支援しております。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の希望により、感染予防に気を付けて、散歩や季節ごとの花など見学に出かけております。また、ご家族様の希望でドライブや外食への支援をいしています。	利用者の希望を把握し、散歩、外食、ドライブなど行きたい場所への外出支援を行っている。また、家族の協力も得ながら、これまでの生活の継続につなげている。	
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様とご家族様へは、お金を持つことに関して理解をして頂いております。希望を反映させて、職員は買い物代行や、病院受診での支払いを支援しています。		
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間や居室は、温度調整と空調調整を常にしています。また、利用者様の作品を飾ったり、料理本を設置し自由に見れるようにしています。	温度管理や換気など居心地が良く、また一緒に作った作品などから季節を感じることが出来る。それぞれの居場所があり、落ち着いて過ごすことができる。椅子に滑り止めをつけるなど安全にも配慮している。	
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様一人ひとりが安心、安全に過ごせるように座席の配置をしています。ほとんどテレビ観戦や、料理本を見て過ごされています。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご家族様、と利用者様と相談をして必要な品物を持参して頂いております。	テレビやぬいぐるみ、遺影や家族の写真など馴染みの物を持ち込んでいる。一人ひとりに合わせた配置により、安全で活動しやすい空間となっている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が安心して自由に生活出来るように見守りしや声掛けをしています。居室を間違えないように造花を入口に飾ったりしています。		